

平成16年度

高等学校における外国語多様化推進

地域事業連絡協議会 配布資料

平成16年9月30日(木) 10:00~12:00

日本教育会館704号室

配布資料内容

- ・ 日程表
- ・ 出席者一覧
- ・ 平成16・17年度推進地域事業一覧表
- ・ 各推進地域基礎報告書(別紙様式1)及び(別紙様式2)

(日程表)

10:00 ~ 10:10	開会式 ・開会挨拶 文部科学省初等中等教育局国際教育課国際理解教育専門官 河野 浩 ・事務連絡
10:10 ~ 10:25	神奈川県報告
10:25 ~ 10:40	大阪府報告
10:40 ~ 10:55	和歌山県報告
10:55 ~ 11:05	休憩
11:05 ~ 11:15	長崎県報告
11:15 ~ 11:25	鹿児島県報告
11:25 ~ 11:35	講評
11:35 ~ 11:40	質疑応答
11:40 ~ 11:55	・平成16年度高等学校中国語担当教員研修プログラム研修報告 財団法人国際文化フォーラム事務局主任 水口 景子
11:55 ~ 12:00	閉会式 ・閉会挨拶 文部科学省初等中等教育局国際教育課国際理解教育第一係長 菊池 智之

平成16年度外国語教育多様化推進地域事業連絡協議会出席者一覧

府 県 名 等	出 席 者 氏 名	所 属 ・ 職 名
文 部 科 学 省	小 串 雅 則	初等中等教育局・視学官
	太 田 光 春	初等中等教育局教育課程課・教科調査官
	河 野 浩	国際教育課国際理解教育専門官
	菊 池 智 之	国際教育課国際理解教育第一係長
	元 平 佳 作	国際教育課国際理解教育第一係員
国 際 文 化 フォーラム	水 口 景 子	事務局主任
神 奈 川 県	大 野 俊 世	教育庁教育部高校教育課・指導主事
大 阪 府	清 水 隆	教育センターカリキュラム研究室長
和 歌 山 県	森 田 収 一	教育庁学校教育課県立学校課・指導主事
	祭 貴 貴美子	和歌山県立那賀高等学校・教諭
長 崎 県	鶴 田 栄 次	教育庁学校教育課・指導主事
	山 崎 洋 昭	長崎県立佐世保商業高等学校・教諭
鹿 児 島 県	松ヶ野 健	教育庁学校教育課高校教育係・指導主事

平成16・17年度高等学校における外国語多様化推進地域事業一覧

	都道府県	研究言語	研究内容	推進校
1	神奈川県	中国語	<ul style="list-style-type: none"> ○中国語の指導体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学校間連携及びTTの指導体制の充実、或いは指導方法の研究などの情報の共有化 ○中国や中国語圏などの文化理解を図り、生徒の国際的視野と積極的なコミュニケーション能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の活用により、現代の中国文化等に対する学習機会の充実や中国語を母語とする人々との交流や体験活動等の教育計画の工夫 ・中国語設置校での発表や交流の場を設け、生徒間のコミュニケーションを促進 ○中国語教育者や研究者、外部組織との研究連携の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・「中国語教育多様化推進連絡協議会」において研究協議や情報交換を推進 ○県内の高等学校間における協力体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ITを用いた教材の研究及び利用のための講習会等の計画と普及や推進校以外での研究授業の 	<p>神奈川県立総合高等学校 神奈川県立六ツ川高等学校 神奈川県立川崎高等学校 神奈川県立ひばりが丘高等学校 神奈川県立商工高等学校 神奈川県立大師高等学校 神奈川県立外語短期大学附属高等学校 以上の各神奈川県立高等学校（7校）</p> <p>やえい西高校を独自に含めて、今178校と (弥保) やついで</p>
2	大阪府	韓国・朝鮮語	<ul style="list-style-type: none"> ○授業実践事例研究 <ul style="list-style-type: none"> ・AKT等とのTTの公開授業、研究授業の実施 ・教材資料集等を活用したモデル授業の実施及び授業研究 ○指導事例集の編纂 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的なTTの在り方について ・教材、教具の効果的な活用について ○カリキュラム開発及び教材開発 <ul style="list-style-type: none"> ・中級用の教材資料集、副読本、CD資料教材やビデオ(DVD)教材資料集の編纂・発行 ○インターネット上での本事業に関するホームページの開設と教材データベースの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブページを利用した学習コンテンツの開発 ○交流プログラムや地域人材等を活用した国際理解教育の推進と高大連携 	<p>(韓国・朝鮮語のみを研究する学校) 佐野工業、布施、阿倍野、今宮工業、三島、勝山、貝塚、枚方津田 以上の各大阪府立高等学校（8校） 淀商業 以上の大阪市立高等学校（1校）</p> <p>(両言語を研究する学校) 旭、今宮、門真なみはや、住吉、西成寝屋川、枚方、桃谷、花園、松原、長吉、福井、阪南、堺東、枚岡樟風柴島 以上の各大阪府立高等学校（16校） 此花総合、扇町総合、都島第二工業 以上の各大阪市立高等学校（3校）</p>

	都道府県	研究言語	研究内容	推進校
2	大阪府	中国語	<ul style="list-style-type: none"> ○授業実践事例研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ACT等とのTTの公開授業、研究授業の実施 ○カリキュラム開発及び教材開発 <ul style="list-style-type: none"> ・初級用の教材資料集、副読本、CD資料教材の編纂・発行 <p>上記以外の部分は、全て、「韓国・朝鮮語」における研究内容と同一</p>	<p>(中国語のみを研究する学校)</p> <p>日根野、布施北、淀川工業、佐野、千里、泉北、長野、箕面、八尾翠翔八尾北</p> <p>以上の各大阪府立高等学校(10校)</p> <p>西</p> <p>以上の大阪市立高等学校(1校)</p>
3	和歌山県	中国語	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画並びに指導内容、教材作成におけるより効果的な中国語教育の在り方についての研究 <ul style="list-style-type: none"> ・前事業で作成された教科書の改訂 ・前事業での指導方法の研究 ○中国語能力向上の体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ・教育機器の活用、教員研修の機会設定 ・中国語による合宿 ○地域連携 <ul style="list-style-type: none"> ・前事業で活用した人材及び交流機会の拡大 	<p>和歌山県立紀の川高等学校</p> <p>和歌山県立那賀高等学校</p> <p>和歌山県立和歌山高等学校</p> <p>和歌山県立青陵高等学校</p> <p>和歌山県立南紀高等学校</p> <p>和歌山県立星林高等学校</p> <p>以上の各和歌山県立高等学校(6校)</p>
4	長崎県	中国語	<ul style="list-style-type: none"> ○現在までの中国語教育の成果と課題の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程、教材、指導法の改善について ○教育課程と指導計画(到達目標・評価)の研究 <ul style="list-style-type: none"> ・TTの研究 ・教材の研究 ○大学との連携の在り方の研究 	<p>長崎県立佐世保商業高等学校</p> <p>長崎県立諫早商業高等学校</p> <p>長崎県立佐世保東翔高等学校</p> <p>以上の各長崎県立高等学校(3校)</p>
5	鹿児島県	韓国語	<ul style="list-style-type: none"> ○韓国語における映像・音声教材の研究及びカリキュラムの編成 ○韓国語の学習支援のためのホームページ開設 ○韓国語に対する学習意欲の研究 ○授業実践集、日常会話集、基本単語集の作成 ○講演会の開催 ○韓国の高校生との相互交流 ○韓国語教育推進の研究及び交流 	<p>鹿児島県立開陽高等学校</p> <p>鹿児島県立鹿児島東高等学校</p> <p>以上の各鹿児島県立高等学校(2校)</p>

平成16年度高等学校における外国語教育多様化推進地域事業基礎報告書

(指定期間 平成16年度 ～ 平成17年度(第1年次))

1. 推進地域指定府県名 (神奈川県) 府・県

2. 研究対象言語 (中国) 語

3. 平成16年度の実践研究

① 実践研究主題

1. 英語以外の外国語教育の推進を図るための教育課程上の課題、指導計画及び指導方法等の工夫改善
2. 英語以外の外国語教育の推進を図るための地域人材の活用
3. 英語以外の外国語教育の推進を図るための、学校と地域の国際交流機関との連携のあり方
4. 担当者同士の研究交流や、母語話者同士の交流のあり方

② 研究内容等の取組状況

1. ①の研究主題を効果的に進めるため、連絡協議会の委員に、県内にある大学の外国語学部・中国語教授、NHKで中国語の教育番組を担当する母語話者、県内の日中友好協会・専務理事に参加をいただいた。

5月31日(月)に第1回中国語教育推進連絡協議会を開催し、委員からは専門的な見地から推進校の事業全体の指導・助言を仰ぐことができた。(添付資料1)

2. ①-1.の指導方法等の工夫改善について、7月9日(金)に推進校である県立大師高等学校において「コンピュータを利用した授業講習会」を開催した。講習会では、全推進校の担当教諭が、ネイティブスピーカーの音声を聞きながら発音練習ができるCD-ROMを自ら体験することにより、生徒の興味・関心をひきだすことができる授業展開のあり方について、活発に議論を行った。(添付資料2)

3. ①-4.の担当者同士の研究交流については、日ごろ交流の機会が少ない非常勤講師に参加してもらい、推進校における授業実践を報告する中でそれぞれの授業方法について講評を行う「中国語担当教諭及び非常勤講師研究会」を開催する予定である。

4. 今後の研究計画等

※ 本報告書記載段階までの進捗状況を踏まえて、平成16年度で今後計画している具体的研究内容・方法や留意点について記述してください。

1. 今年度、新たに参加した推進校における研究授業を11月に予定している。連絡協議会委員に授業参観を行ってもらい、授業内容の向上を目的としている。
2. 10月と1月に第2・3回の推進連絡協議会の開催を予定している。実施した事業について報告を行い、委員からの指導助言を踏まえて、協議会及び各推進校における研究実践を深化させることを目的としている。
3. 今年度中に、内容のまとめりごとの評価規準を作成し、平成17年度に時間毎の指導と評価の計画を立てて授業を実施する。

第1回 平成16・17年度中国語教育推進連絡協議会

<協議会の概要>

日時：平成16年5月31日

14:00～16:00

場所：県立神奈川総合高等学校

(司会：事務局 大野 俊世)

- 1 連絡協議会委員の委嘱 高校教育課 下山田課長
- 2 挨拶 高校教育課 下山田課長
 - ・ 協議会設置の趣旨
 - ・ 神奈川県立高校の中国語教育の現状
 - ・ 当事業の展望
- 3 連絡協議会委員及び推進担当者の紹介 高校教育課 下山田課長
添付資料□のとおり。
- 1 委員長・副委員長の選出
委員長：河野 通広氏 副委員長：彭 国躍氏に決定。
- 5 平成14・15年度推進校より活動の紹介 六ッ川高校 堀川 秀咲教諭
 - ア 研究テーマとして次の3点を設定し、各校で取り組んだ。
 - ・ ティームティーチングの指導計画と指導体制の充実
 - ・ 情報通信ネットワークの、授業への活用
 - ・ 外部との連携
 - イ 今後の課題として、次の3点を得た。
 - ・ 非常勤講師やPFTを含めた公的な組織作り
 - ・ 教育活動の情報の集約
 - ・ 情報の公開と共有

(司会：委員長 河野 通広 氏)

- 6 協議
 - ア 今年度事業計画について
添付資料□のとおり、確認。
 - イ 平成16・17年度推進校より今年度の活動への展望
添付資料□のとおり、各担当者より報告。
 - ウ 推進委員より指導助言
 - ・ 彭委員 「日本語を学ぶ中国の高校生と、中国語を学ぶ日本の高校生との交流ができるとよいと思う。」
 - ・ 畠山委員 「環境問題などを、「日中の生徒が共に考えるような活動ができるとよい。」
 - ・ 河野委員 「ネイティブの参加を促すことが必要である。」
 - ・ 五十嵐委員 「神奈川らしさを表現することが大切である。」
 - ・ 下山田課長 「各校の中国語の設定目標、指導法について研究を深めてほしい。」
- 7 事務連絡
- 8 閉会

第1回平成16・17年度中国語教育推進連絡協議会出席者一覧

平成16・17年度中国語教育推進連絡協議会委員

所属・職名	氏名	備考
神奈川県立大学外国語学部教授	彭 国躍 (けいこくやく)	大学 委員長
NHK中国語講座講師	銭 波 (せんは)	母語話者
県日中友好協会 専務理事	河野 通広	団体代表 副委員長
県立神奈川総合高等学校長	五十嵐 勲	推進校
県立商工高等学校長	田中 則彦	推進校
県立六ツ川高等学校長	三木田 利夫	推進校
県立外語短大付属高等学校長	玉木 真理子	推進校
県立大師高等学校長	三浦 秀文	推進校
県立川崎高等学校長	島山 利子	推進校
県立ひばりが丘高等学校長	井上 克彦	推進校
県立弥栄西高等学校長	渡邊 孝一	推進校
県教育委員会高校教育課長	下山田 伸一郎	
高校教育課専任主幹兼指導主事	田中 均	
高校教育課指導主事	土佐 和樹	(事務局)
高校教育課指導主事	大野 俊世	(事務局)
高校教育課主任主事	橋本 滋行	(事務局)

指導担当者

平成16・17年度中国語教育推進校及び担当者

県立神奈川総合高等学校	潮田 康之
県立商工高等学校	石木田 貞幸
県立六ツ川高等学校	堀川 秀咲
県立外語短大付属高等学校	佐藤 宣行
県立大師高等学校	山田 秀二
県立川崎高等学校	岩永 明
県立ひばりが丘高等学校	小俣 弘子
県立弥栄東高等学校	馬場 絹枝

コンピュータを利用した中国語授業講習会（概要）

- 1 日時 平成 16 年 7 月 9 日（金） 午後 2 時 30 分～4 時 30 分
- 2 場所 県立大師高等学校
川崎市川崎区四谷下町 25-1
- 3 目的 中国語教育推進連絡協議会平成 16 年度事業計画に基づき、効果的な授業実践の方途としてのコンピュータ活用のあり方を研究する。
- 4 参加者 中国語教育推進校担当者（8 名）
- 5 内容（司会：事務局）
 - (1) コンピュータを利用した授業実践紹介
紹介者：県立大師高等学校 中国語教育推進担当者 山田 秀二 教諭
紹介内容：1 音声ソフトを利用したリスニング学習
○ 「TALK NOW! 初めての中国語」(EuroTalk 社) というソフトを用い、録音された音声にしたがって発声練習をしたり、ゲームをしながら様々な単語や表現を身に付ける取り組みが示された。
○ その後、参加者が、各自同じソフトによる学習を体験した。
 - (2) インターネットを活用した授業形態の研究討議
提案者：(1) に同じ
討議内容：インターネットの活用による中国語能力向上の可能性について
○ 中国のサイトの中から、国内の新聞記事など、時事性と学習効果が高いと思われる教材を選び、生徒に提示して和訳させるなどの取り組みが示された。
○ その後、参加者の中で意見交換を行い、情報の選択への配慮を前提としつつ、生徒の学習意欲を高めるためにも、積極的な活用を検討すべき、という結論を得た。
 - (3) 全体に関する意見交換
次のような意見が出された。
○ コンピュータの活用は学習のための道具として捉え、あくまで言語習得の深化に意義を置くことを確認すべきだ。
○ インターネットの活用により中国の現状を生徒に提示できる。学習への関心・意欲を養うのに効果的である。
○ 異文化理解を実現させるという観点から、取り組みの可能性を考えるべきである。
 - (4) 事務連絡
 - (5) 閉会

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	神奈川県立 ひばりが丘高等学校	所在地	神奈川県座間市ひばりが丘 3-58-1		
校長名	井上 克彦	電話	046 255-2555	FAX	046 252-5409
該当言語担当教員数	(非常勤講師) 1名	該当言語担当ALT数	0名		
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語Ⅰ	国際教養コース 2年	必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選 ^必 ・選	3	9名	
中国語Ⅰ	一般コース 2年	必・選 ^必 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 選	2	37名	
中国語Ⅲ	国際教養コース 3年	必・選 ^必 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 選	2	8名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <p>授業以外に、次の事業を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語検定(2級・3級・4級)受講生への補習 ・桜美林大学大学院中国人留学生による授業補助 ・学校説明会(夏季休業中2回)での、中国語選択者による模擬授業の実施 ・日中交流会(中国人生徒と日本人生徒の交流を促進する会)による文化交流(中国料理)、及び、文化祭発表に向けての準備 <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <p>○その他(要望などがあれば記入)</p>					
担当者氏名	小俣弘子	担当者連絡先	046-255-2555		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	外語短大付属高等学校	所在地	横浜市磯子区岡村4-15-1		
校長名	玉木 真理子	電話	045-741-4162	FAX	045-742-9722
該当言語担当教員数	2名		該当言語担当ALT数	0名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語Ⅰ	1年	必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選必・選	3	32名	
中国語Ⅱ	2年	必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選必・選	3	38名	
中国語Ⅲ	3年	必・選必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選	2	11名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <p>5月8日(土) 中国語教育研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度の中国語開設校、履修者等の調査報告 ・平成15年度未実施の姉妹校交流報告(外語短大付属高校・六ッ川高校) <p>7月10日(土) 「京劇ワークショップ」(神奈川県高等学校中国語教育研究会主催)</p> <p>「趙 永偉」先生(中国国家一級俳優)の講演と実技</p> <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <p>特になし</p> <p>○その他(要望などがあれば記入)</p> <p>特になし</p>					
担当者氏名	佐藤 宣行	担当者連絡先	045-741-4162		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	商工 高等学校	所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町743		
校長名	田中 則彦	電話	045-353-0591	F A X	045-353-1565
該当言語担当教員数	1 名		該当言語担当ALT数	1 名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
ビジネス中国語 会話	2 年	必 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 選必 ・ 選	2	14 名	
ビジネス中国語 会話	3 年	必 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 選必 ・ 選	2	9 名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生は発音指導に重点を置いた。 ・ 2. 3年ともに授業開始、終了の挨拶、出欠等は中国語で行った。 ・ 毎回の授業の始めに単語の小テスト(10問)を行った。 ・ 授業の前半は「中国の今」というテーマで、新聞・インターネット等を利用して、現時点の中国を紹介し、異文化理解に心掛けた。 ・ 日常生活の中でも、中国語での挨拶・基礎会話練習を奨励した。 <p>(校内で担当と会った時は中国語を使用することを義務づけた)</p> <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他校との連携、他県との連携について (全国中国語教育研究会、神奈川県中国語教育と多様化事業をどう関連させるか) ・ 教材費の捻出 (視聴覚教材等、自己負担によるところが多い) <p>○その他(要望などがあれば記入)</p>					
担当者氏名	石木田 貞幸	担当者連絡先	045-353-0591		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	神奈川県総合高等学校	所在地	横浜市神奈川区平川町19-2		
校長名	五十嵐 勲	電話	045-491-2000	FAX	045-491-3190
該当言語担当教員数	1名		該当言語担当ALT数	0名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語Ⅰ	1～3年	必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選必・選	2	26名	
中国語Ⅱ	1～3年	必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選必・選	2	24名	
母語文化理解	1～3年	必・選必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選	2	4名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <p>中国語Ⅰ 生徒のニーズに応じて学習計画を工夫している。文法より会話にポイントを置いて、自己紹介(氏名だけでなく、生年月日や趣味等も話せるように指導)等、多く話をする事を心がけて指導している。楽しみながら中国の文化にふれるように、身近な文化的な話題を取り上げたり、時には料理作りを行い興味関心を高めた。また、日本との関わりの中で日本語の学習にふれたり、詩も取り上げた。</p> <p>母語文化理解 本授業は、日本と中国との相互理解を深めることにより、橋渡しができたらよいと考えている。出身地の異なる生徒に配慮して、時代の必要性、母国語の重要性を認識することを考え進めている。中国全体に関わる新聞記事を活用し、中国の現状や世界との関わりを学習した。またボランティア等国際交流に関わる事を日本語から中国語に訳したり、英語の文章を訳すことにより、他文化への関心や理解に努めている。</p> <p>中国語Ⅱ は後期(10/1～)の科目である。</p> <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入) 特になし</p> <p>○その他(要望などがあれば記入) 特になし</p>					
担当者氏名	潮田 康之	担当者連絡先	045-491-2000		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	川崎高等学校	所在地	川崎市川崎区渡田山王町22-6		
校長名	畠山利子	電話	044-344-5821	FAX	044-344-9140
該当言語担当教員数	1名		該当言語担当ALT数	1名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語	1～3年	必・選必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選	2	28名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について 夏季休業前までの22時間の中国語の授業および夏季休業中において次のことを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発音を重視した基本の習得 ・異文化への関心を抱くことを目的とした、「神奈川県遼寧省友好提携20周年記念事業青少年訪問団」参加生徒による体験報告会の実施 ・神奈川県高等学校中国語教育研究会主催による「京劇ワークショップ」の解説と案内 ・中学生向け体験授業(8/3・4)において「中国語・中国文化のおもしろさ」をテーマに、講師を招き授業を行った。 <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入) 特になし</p> <p>○その他(要望などがあれば記入) 特になし</p>					
担当者氏名	岩永明	担当者連絡先	044-344-5821		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	大 師 高等学校	所在地	神奈川県川崎市川崎区四谷下町25番1号		
校長名	三浦 秀文	電話	044-276-1201	F A X	044-266-5961
該当言語担当教員数	2名		該当言語担当ALT数	0名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語	2・3年	必 ・ 選必 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 選	4	15 名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <p>6月7日～25日「神奈川大学」実習生による中国語の教育実習 6月19日「全国中国語教育研究大会」(全国中国語教育研究会主催)への教員参加、チームティーチング、異文化理解教育の研究 7月2日「コンピュータを活用した授業」実践 中国語ワープロ、インターネット、学習ソフトの活用 7月10日「京劇ワークショップ」(神奈川県高等学校中国語教育研究会主催)への教員、生徒参加 7月25日～8月11日「高等学校中国語担当教員研修プログラム」への教員参加</p> <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校との連携、他県との連携についての位置付け(全国中国語教育研究会、神奈川県高等学校中国語教育研究会の取り組みをどう位置付けるか) ・非常勤講師、P F Tへの対応について <p>○その他(要望などがあれば記入)</p>					
担当者氏名	山田 秀二	担当者連絡先	044-276-1201		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	神奈川県立弥栄西高等学校	所在地	相模原市弥栄3-1-8		
校長名	渡邊 孝一	電話	042-758-4695	FAX	042-751-6137
該当言語担当教員数	1 名		該当言語担当ALT数	0 名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語	2 年	必・※ <input type="checkbox"/> 選必 <input type="checkbox"/> ・ <input type="checkbox"/> 選	2	18名 (弥栄東1・弥栄西17内留学生1)	
中国語Ⅱ	3 年	必・ <input type="checkbox"/> 選必 <input type="checkbox"/> ・ <input type="checkbox"/> 選	2	13名 (弥栄東4・弥栄西9)	
	年	必・ <input type="checkbox"/> 選必 <input type="checkbox"/> ・ <input type="checkbox"/> 選		名	
	年	必・ <input type="checkbox"/> 選必 <input type="checkbox"/> ・ <input type="checkbox"/> 選		名	
	年	必・ <input type="checkbox"/> 選必 <input type="checkbox"/> ・ <input type="checkbox"/> 選		名	
<p>上記表中の※は外国語コースのみ選択必修を示す。 他コースは自由選択</p> <p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「はじめての中国語 ぷうとんほあ」(朝日出版社)を用いて中国語の授業を進めている。 ・3年生は1学期中に1回、2時間程度の中国語母語話者(桜美林大学大学院生(中国からの留学生))とのティーム・ティーチングを実施した。 ・新世紀国際教育交流プロジェクトにかかる中国派遣生徒(2名)への指導 <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <p>特になし</p> <p>○その他(要望などがあれば記入)</p> <p>特になし</p>					
担当者氏名	馬場 絹枝		担当者連絡先	042-758-4694 yaeihigashi-h@pref.kanagawa.jp	

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	県立六ツ川高等学校	所在地	横浜市南区六ツ川 1-731		
校長名	三木田 利夫	電話	045-721-1434	FAX	045-742-9493
該当言語担当教員数	1 名		該当言語担当ALT数	(PFT)	1 名
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語Ⅰ	2 年	必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選必・選	2	25 名	
中国語Ⅱ	3 年	必・選必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選	2	5 名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
(以下の項目について記入してください)					
○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について					
<p>1 6月23日(水)3年生の「中国語Ⅱ」選択のクラスで中華街の訪問調査を行った。関帝廟などを見学し中華街の歴史を学び、普段は見ない日本にある中国文化を学んだ。</p> <p>2 「中国語Ⅰ」と同じ必修選択の同じ時間帯にある「国際理解A」と合同授業を試みた。中国語PFTからの中国の食文化紹介と食文化体験を組み合わせしてみた。</p> <p>3 神奈川県高等学校中国語教育研究会主催による「京劇ワークショップ」に参加。京劇俳優の趙永偉さんを講師に衣裳紹介や実演などビジュアルな京劇体験ができた。</p> <p>4 推進校の連携の中でそれぞれの事業・行事を公開しホームページ(神奈川県高等学校中国語教育研究会)を作成・更新した。</p>					
○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)					
○その他(要望などがあれば記入)					
担当者氏名	堀川 秀咲		担当者連絡先	syusaku_horikawa@hotmail.com	

(別紙様式 1)

平成16年度高等学校における外国語教育多様化推進地域事業基礎報告書

(指定期間 平成16年度～平成17年度(第1年次))

- 1 推進地域指定府名 大阪府
- 2 研究対象言語 アジア言語(韓国・朝鮮語)
- 3 平成16年度の実践研究

① 実践研究主題

- 英語以外の外国語(韓国・朝鮮語)教育の推進を図るための教育課程上の課題、指導計画及び指導方法等の工夫改善
- 英語以外の外国語(韓国・朝鮮語)教育の推進を図るための地域人材の活用
- 英語以外の外国語(韓国・朝鮮語)教育の推進を図るための学校と地域の連携のあり方
- その他(インターネットを利用した情報発信及び情報共有を行うための教育用デジタル・コンテンツの構築)

② 研究内容等の取組み状況

ア 授業研究

平成14,15年度外国語多様化推進地域事業指定を受け、AKT(JETプログラムによる韓国語指導助手)とのティーム・ティーチングの公開授業、研究授業をすでに数回実施し、授業改善、担当教員のネットワークの構築及び資質向上を図ってきた。本年度についても、各学校において、平成14,15年度に作成した教材資料集及びCD,DVD等を活用した効果的な授業について、研究実践を重ねているところである。現在、公開授業の実施にむけて調整中である。

イ カリキュラム開発及び教材開発

各学校において、平成14,15年度に編纂した教材資料集「はじめよう、韓国・朝鮮語(初級編)」を活用し、授業の充実を図っているところである。また、この教材資料集の編纂を通じ、担当教員のネットワークの構築も進みつつある。本年度についても、更なる授業の充実、担当教員のネットワークの構築に向けて、「はじめよう、韓国・朝鮮語(初級編)」を改訂し、DVD化を図った。それを各関係高等学校に配付の予定である。

ウ インターネット上での本事業に関するホームページの開設と教材データベースの構築

平成 14,15 年度の事業で開発した「はじめよう韓国、朝鮮語」教材資料集を公開している。現在、音声及び映像のダウンロードを行うことができるよう調整中である。これにより、研究成果を広く一般に普及することが可能となる。

エ 交流プログラムや地域人材等を活用した国際理解教育の推進及び日韓文化交流基金等との共催による高校生交流プログラムの実施

- 財団法人ワイ・エフ・ユー日本国際交流財団主催による新世紀国際交流プロジェクト・高校生交流の推進事業（韓国派遣事業）を活用し、8月に府内の高校生12名を派遣し、ホームステイ等により、相互理解と友好親善の一層の充実を図った。
- 本年度、日韓文化交流基金との共催により、府立高校6校に韓国からの高校生300名の受入を計画している。すでに、6月2校において、計100名を受入れ、相互の文化紹介等を通じて交流を実施した。
- 韓国への修学旅行については、本年度6校で実施予定であり、すでに、1校において実施した。
- 文部科学省主催「日韓未来プロジェクト」において府立高校の生徒23名を9月15日から9月19日まで、韓国へ派遣しホームステイ体験等の交流を実施する予定である。

4 今後の研究計画等

○ 研究内容等

ア 授業研究の実施

韓国・朝鮮語を担当している教員及び講師数は、ほとんど各学校1名ずつであり、校内において教員間における指導助言等の機会はまず持てない状況にある。したがって、開講校の教員等が集まって、教材及び指導方法等について、意見交換をする場を確保することは、教員の資質向上及び韓国・朝鮮語の授業の充実を図るうえにおいて、非常に効果的であると考えます。

今後、研究授業の開催回数をできるだけ確保することにより、教員間のネットワークを構築し、相互に教材等の情報交換ができる関係及び環境を醸成する。

イ カリキュラム開発及び教材開発

平成 14,15 年度編纂した教材資料集（初級編）を、さらに改訂し、またそれに

準拠した DVD を作成した。今後は、各学校において、その教材等を活用しながら、より効果的な指導方法について研究をする。

ウ 地域人材等を活用した国際理解教育の推進

地域の特性を生かした活発な人的交流による国際理解教育の推進及び地域人材を任用し韓国・朝鮮語教育の活性化を図るため、「外国語教育多様化推進人材バンク」（仮称）を立ち上げる予定であり、現在調整中である。

※「外国語教育多様化推進人材バンク」の概要

（趣旨）

優れた韓国・朝鮮語の知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することにより、生徒に学習意欲や将来への夢を育む観点から、「外国語教育多様化推進人材バンク」を設置する。

（対象となる人材）

地域の韓国・朝鮮語の優れた指導力を有し、かつ公立高校の教育活動に携わるにふさわしい熱意と識見を有する者。

エ 高校生交流プログラムの実施

本年度については、下記のとおり、韓国の高校生との交流を予定している。交流内容については、各学校の状況にあわせてそれぞれ創意工夫を凝らした交流を実施する予定である。

（参考）	10月	府立高校2校交流実施	韓国の高校生100名受け入れ
	11月	府立高校2校交流実施	韓国の高校生100名受け入れ

(別紙様式 1)

平成16年度高等学校における外国語教育多様化推進地域事業基礎報告書

(指定期間 平成16年度～平成17年度(第1年次))

- 1 推進地域指定府名 大阪府
- 2 研究対象言語 アジア言語(中国語)

3 平成16年度の実践研究

③ 実践研究主題

- 英語以外の外国語(中国語)教育の推進を図るための教育課程上の課題、指導計画及び指導方法等の工夫改善
- 英語以外の外国語(中国語)教育の推進を図るための地域人材の活用
- 英語以外の外国語(中国語)教育の推進を図るための学校と地域の連携のあり方
- その他(インターネットを利用した情報発信及び情報共有を行うための教育用デジタル・コンテンツの構築)

④ 研究内容等の取組み状況

ア 授業研究

平成16年度より ACT(JETプログラムによる中国語指導助手)を府立高校1校に配置し、他2校を招請校として週1～2回派遣している。各学校においては、ACTの効果的な活用方法及びティーム・ティーチングの進め方等を研究実践しているところである。今後は、各学校で研究公開授業、研究授業を実施し、授業改善、担当教員のネットワークの構築及び資質向上を図る。

本年8月、文部科学省主催「平成16年度高等学校中国語担当教員研修プログラム」を活用し、中国語担当教員を1名中国に派遣し、中国語能力及び指導力の向上を図ったところであり、当該教員を中心に中国語担当教員の研修を計画している。

また、中国帰国生徒を対象にした母語保障のための中国語講座を開講している学校においては、帰国生徒対象の授業のあり方について、当該校において研究公開授業を実施する。

イ カリキュラム開発及び教材開発

授業で用いている中国語のテキストを補完する教材を現在検討中である。その内

容について、現在研究部会で調整しており、各学校において、どのような教材についてのニーズがあるのか、またどのような教材を作成するのがもっとも効果的であるのかを把握したうえで、具体の作業に取りかかる予定である。

中国帰国生徒対象の教材については、昨年度より研究部会を立ち上げ、教材作成に取り組んでいる。すでに作成したものを実際に授業で活用しながら、さらに充実したものとなるよう差し替えや補充等を行っている。現在、中国帰国生徒を対象とした講座については、市販のテキストがなく、各担当教員の手作り教材により対応をしている状況であるが、このようなテキストが編纂されると、系統的な授業が実施可能となることが期待される。また、ニーズのある市町村へ普及することも可能となる。

ウ 交流プログラムや地域人材等を活用した国際理解教育の推進及び高校生交流プログラムの実施

- 財団法人エイ・エフ・エス日本協会主催による新世紀国際教育交流プロジェクト・高校生交流の推進事業（中国派遣事業）を活用し、8月20日から9月10日まで、府内高校生5名を派遣し、ホームステイ等により、相互理解と友好親善の一層の充実を図った。また、11月には、中国の高校生5名を府内の高校に受け入れる予定である。
- 中国への修学旅行については、本年度2校で実施予定であり、すでに、1校において実施した。

4 今後の研究計画等

○ 研究内容等

ア 授業研究の実施

中国語を担当している教員及び講師数は、ほとんど各学校1名ずつであり、校内において教員間における指導助言等の機会はまず持てない状況にある。したがって、開講校の教員等が集まって、教材及び指導方法等について、意見交換をする場を確保することは、教員の資質向上及び中国語の授業の充実を図るうえにおいて、非常に効果的であると考えられる。

今後、研究授業の開催回数をできるだけ確保することにより、教員間のネットワークを構築し、相互に教材等の情報交換ができる関係及び環境を醸成する。

イ カリキュラム開発及び教材開発

現在各学校において、どのような教材が効果的であるかについて、検討中である。各学校において生徒のニーズやレベルに応じた活用頻度の高いものを作成したいと考えている。中国からの ACT を活用し、中国文化紹介等を盛り込み、生徒にとって興味深い教材となるよう留意する。

中国帰国生徒を対象とした教材開発については、すでに作成した教材を用いた研究授業を実施する中で、さらに効果的な教材となるよう研究部会で協議を重ねる予定である。

ウ 地域人材等を活用した国際理解教育の推進

地域の特性を生かした活発な人的交流による国際理解教育の推進及び地域人材の任用による中国語教育の活性化を図るため、「外国語教育多様化推進人材バンク」(仮称) を立ち上げる予定であり、現在調整中である。

※「外国語教育多様化推進人材バンク」の概要 (趣旨)

優れた中国語の知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することにより、生徒に学習意欲や将来への夢を育む観点から、当該高等学校に対し、対象となる人材に関する情報を提供するため、「外国語教育多様化推進人材バンク」を設置する。

(対象となる人材)

地域の中国語の優れた指導力を有し、かつ公立高校の教育活動に携わるにふさわしい熱意と識見を有する者。

エ 高校生交流プログラムの実施

本年度については、中国の高校生 5 名の受入を予定している。交流プログラムについては、受け入れる学校の状況にあわせてそれぞれ創意工夫を凝らした計画をたて実施する予定である。

(別紙様式2)

学校名	阿倍野 高等学校	所在地	大阪市阿倍野区阪南町1-30-34		
校長名	片平 厚子	電話	06-6628-1461	FAX	06-6628-4082
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語	3年		選	2	11名
担当者氏名	岡田 勇一		担当者連絡先	06-6628-1461	

学校名	旭 高等学校	所在地	大阪市旭区高殿5-6-41		
校長名	横山 正美	電話	06-6951-3133	FAX	06-6951-7501
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語 I	2年		選必	2	14名
中国語 I	2年		選必	2	6名
中国語 II	3年		選	2	2名
担当者氏名	後藤 一彦		担当者連絡先	06-6951-3133	

学校名	芦間 高等学校	所在地	守口市外島町1-43		
校長名	中尾 直史	電話	06-6993-7687	FAX	06-6997-1054
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語文化入門	2年		選	2	6名
韓国・朝鮮語文化入門	3年		選	2	46名
中国語文化入門	2年		選	2	5名
中国語文化入門	3年		選	2	30名
担当者氏名	市川 明夫		担当者連絡先	06-6993-7687	

学校名	花園 高等学校	所在地	東大阪市花園東町3-1-25		
校長名	谷本 和廣	電話	0729-61-4925	FAX	0729-62-0440
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国朝鮮語文化	2年		選必	2	16名
中国語文化	2年		選必	2	38名
担当者氏名	久米 秀夫		担当者連絡先	0729-61-4925	

学校名	貝塚 高等学校	所在地	貝塚市畠中1-1-1		
校長名	増田 恵一	電話	0724-23-1401	FAX	0724-32-5271
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
ハンゲル講座	2年		選	2	50名
担当者氏名	増田 吉信		担当者連絡先	0724-23-1401	

学校名	今宮 高等学校	所在地	大阪市浪速区戎本町2-7-39		
校長名	松岡 文平	電話	06-6641-2612	FAX	06-6645-7608
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語文化 研究	2年		選	2	10名
韓国・朝鮮語文化 研究	3年		選	2	8名
中国語文化研究	2年		選	2	8名
中国語文化研究	3年		選	2	1名
担当者氏名	芝田 秀和		担当者連絡先	06-6641-2612	

学校名	今宮工業(定)高等学校	所在地	大阪市西成区出城1-1-6		
校長名	古賀 史郎	電話	06-6631-0055	FAX	06-6645-7618
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
朝鮮語 I	1年		選	2	30名
朝鮮語 II	2年		選	2	8名
朝鮮語	4年		選	3	1名
担当者氏名	樋口 真須人		担当者連絡先	06-6631-0055	

学校名	佐野 高等学校	所在地	泉佐野市市場東2-398		
校長名	赤井 正弘	電話	0724-62-3825	FAX	0724-61-2364
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
中国語入門	2年	選必	2	34名	
中国語B	3年	選	2	23名	
担当者氏名	久保 仁		担当者連絡先	0724-62-3825	

学校名	佐野工業(定)高等学校	所在地	泉佐野市高松東1-3-50		
校長名	山脇 正隆	電話	0724-62-2772	FAX	0724-61-2362
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語入門	1年	選必・選	4	25名	
韓国・朝鮮語入門	1年	選必	2	30名	
韓国・朝鮮語入門	2年	選必	2	20名	
韓国・朝鮮語初級 会話	2年	選必	2	51名	
韓国・朝鮮語で話そう	2年	選	2	9名	
韓国・朝鮮語初級 会話	3年	選必	2	18名	
韓国・朝鮮語応用	3年	選必	2	18名	
担当者氏名	武井 勝		担当者連絡先	0724-62-2772	

学校名	阪南 高等学校	所在地	大阪市住吉区庭井2-18-81		
校長名	奥本 隆	電話	06-6692-0356	FAX	06-6692-3202
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		1
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語Ⅰ	2年	選	2	17名	
韓国・朝鮮語Ⅱ	3年	選	2	12名	
韓国・朝鮮語演習	3年	選	2	3名	
中国語Ⅰ	2年	選	2	11名	
中国語Ⅱ	3年	選	2	3名	
担当者氏名	今村 三郎		担当者連絡先	06-6692-0356	

学校名	堺東 高等学校	所在地	堺市晴美台1-1-2		
校長名	多田 耕三	電話	072-291-5510	FAX	072-291-6097
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国朝鮮語	3年	選	2	2名	
中国語	2年	選	2	8名	
中国語	3年	選	2	3名	
担当者氏名	鷺之上 雅永		担当者連絡先	072-291-5510	

学校名	三島 高等学校	所在地	高槻市今城町27-1		
校長名	井上 箕夫	電話	072-682-5884	FAX	072-682-4706
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
ハングルⅠ	1年	選	1	10名	
ハングルⅠ・Ⅱ	2年	選	1	2名	
ハングルⅠ・Ⅱ	3年	選	1	2名	
担当者氏名	大島 明		担当者連絡先	072-682-5884	

学校名	柴島 高等学校	所在地	大阪市東淀川区柴島1-7-106		
校長名	池田 憲昭	電話	06-6323-8351	FAX	06-6323-8237
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		1
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語	2年	選		15名	
韓国・朝鮮語	3年	選		7名	
中国語Ⅰ	2年	選		15名	
中国語Ⅰ	3年	選		15名	
中国語Ⅱ	3年	選		13名	
担当者氏名	北野 正仁		担当者連絡先	06-6323-8351	

学校名	守口東 高等学校	所在地	守口市八雲中町2-1-32		
校長名	田中 満公子	電話	06-6906-8211	FAX	06-6906-8192
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語基礎	2年		選	2	5名
担当者氏名	佐藤 正喜		担当者連絡先	06-6906-8211	

学校名	住吉 高等学校	所在地	大阪市阿倍野区北畠2-4-1		
校長名	首藤 保	電話	06-6651-0525	FAX	06-6653-9163
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
すきやねんハンゲル	2年		選必	2	23名
ニイハオ中国	2年		選必	2	28名
担当者氏名	前 比呂子		担当者連絡先	06-6651-0525	

学校名	勝山 高等学校	所在地	大阪市生野区巽東3-10-75		
校長名	中尾 兼司	電話	06-6757-9171	FAX	06-6757-0074
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国朝鮮語	3年		選	2	60名
担当者氏名	元田 良司		担当者連絡先	06-6757-9171	

学校名	松原 高等学校	所在地	松原市三宅東3-4-1		
校長名	吉村 和彦	電話	072-334-8008	FAX	072-334-8142
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語圏の文化	2年		選	2	15名
ハンゲルⅡ	3年		選	4	5名
中国語圏の文化	2年		選	2	16名
中国語Ⅱ	3年		選	4	8名
担当者氏名	佐谷 力		担当者連絡先	072-334-8008	

学校名	成美 高等学校	所在地	堺市城山台4-1-1		
校長名	金澤 秀郎	電話	072-299-9099	FAX	072-293-2859
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
中国語初級	2年		選必	2	12名
中国語入門	2年		選必	2	2名
担当者氏名	岡田 光生		担当者連絡先	072-299-9099	

学校名	西成 高等学校	所在地	大阪市西成区津守1-13-10		
校長名	仲谷 隆次	電話	06-6562-5751	FAX	06-6561-3028
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
朝鮮語入門-会話①	2年		選	2	1名
朝鮮語入門-文化	2年		選	2	1名
朝鮮語	3年		選必	2	65名
朝鮮語会話	3年		選	2	10名
中国語	3年		選	2	1名
担当者氏名	渡部 敏雄		担当者連絡先	06-6562-5751	

学校名	千里 高等学校	所在地	吹田市高野台2-17-1		
校長名	南 太一郎	電話	06-6871-0050	FAX	06-6871-2587
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
中国語	2年		選	2	23名
中国語	3年		選	2	10名
担当者氏名	西島 多枝子		担当者連絡先	06-6871-0050	

学校名	泉北 高等学校	所在地	堺市若松台3-2-2		
校長名	秦 寿孝	電話	072-297-1065	FAX	072-293-2376
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い		単位数	履修者数
母語研究 (韓国・朝	1年		選	2	1名
母語研究 (中国語	2年		選	2	2名
中国語文化	2年		選必	1	24名
母語研究 (中国語	3年		選	2	2名
中国語 I	3年		選	2	33名
担当者氏名	嶽 幸三		担当者連絡先	072-297-1065	

学校名	長吉 高等学校	所在地	大阪市平野区長吉長原西3-11-33		
校長名	北條 秀司	電話	06-6790-0700	FAX	06-6700-5106
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		1
開設科目名	対象学年	取り扱い		単位数	履修者数
朝鮮語 I	1年		選	2	4名
朝鮮語 I	2年次以降		選	2	20名
朝鮮語 II	2年次以降		選	2	7名
朝鮮文化演習	2年次以降		選	2	10名
朝鮮語会話	2年次以降		選	2	6名
中国語 I	2年		選	2	26名
中国語 II	2年		選	2	6名
中国語 III	2年		選	2	16名
担当者氏名	坂口 俊彦		担当者連絡先	06-6790-0700	

学校名	長野 高等学校	所在地	河内長野市原町533		
校長名	深野 康久	電話	0721-53-7371	FAX	0721-53-7384
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い		単位数	履修者数
中国語会話	2年		選	2	25名
中国語	3年		選	2	10名
担当者氏名	宮原 哲雄		担当者連絡先	0721-53-7371	

学校名	槻の木 高等学校	所在地	高槻市城内町2-13		
校長名	河村 繁	電話	072-675-2600	FAX	072-675-2960
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い		単位数	履修者数
中国語	2年		選	2	7名
担当者氏名	長井 勲治		担当者連絡先	072-675-2600	

学校名	桃谷(通信)高等学校	所在地	大阪市生野区勝山南3-1-4		
校長名	谷本 恒雄	電話	06-6712-0371	FAX	06-6712-2939
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い		単位数	履修者数
韓国・朝鮮語入門	1年		選必	3	154名
韓国・朝鮮語1	1年		選必	2	22名
韓国・朝鮮語文化 理解	2年		選	3	63名
韓国・朝鮮語初級 会話	2年		選必	3	41名
韓国・朝鮮語2	2年		選	2	21名
韓国・朝鮮語応用	3年		選	3	35名
中国語入門	1年		選必	3	110名
中国語1	1年		選	2	21名
中国語文化理解	2年		選	3	53名
中国語初級会話	2年		選必	3	44名
中国語2	2年		選	2	21名
中国語応用	3年		選	3	31名
担当者氏名	澤田 博文		担当者連絡先	06-6712-0371	

学校名	桃谷(定・昼) 高等学校	所在地	大阪市生野区勝山南3-1-4		
校長名	谷本 恒雄	電話	06-6712-0371	FAX	06-6712-2939
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数		0
開設科目名	対象学年	取り扱い		単位数	履修者数
韓国・朝鮮語	全学年前期		選必	2	13名
韓国・朝鮮語	全学年後期		選必	2	7名
中国語	全学年前期		選必	2	14名

中国語	全学年後期	選必	2	22名
担当者氏名	澤田 博文	担当者連絡先	06-6712-0371	

学校名	桃谷(定・夜間)高等学校	所在地	大阪市生野区勝山南3-1-4		
校長名	谷本 恒雄	電話	06-6712-0371	FAX	06-6712-2939
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	0	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
オーラル1韓国・朝鮮語 I	全学年	選必	2	21名	
韓国・朝鮮語 I	全学年	選必	3	33名	
韓国・朝鮮語演習	全学年	選必	2	7名	
担当者氏名	澤田 博文	担当者連絡先	06-6712-0371		

学校名	日根野 高等学校	所在地	泉佐野市日根野2372-1		
校長名	楠見 修三	電話	0724-67-1555	FAX	0724-67-1754
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	0	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
中国語 I	2年	選	2	9名	
中国語 II	3年	選	2	7名	
担当者氏名	大江 進	担当者連絡先	0724-67-1555		

学校名	八尾翠翔 高等学校	所在地	八尾市神宮寺3-107		
校長名	砂畑 健一	電話	0729-43-8107	FAX	0729-43-6751
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	0	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語	3年	選	2	4名	
中国語	3年	選	2	18名	
担当者氏名	嶋中 明彦	担当者連絡先	0729-43-8107		

学校名	八尾北 高等学校	所在地	八尾市萱振町7-42		
校長名	岡村 務	電話	0729-98-2100	FAX	0729-98-6345
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	1	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
中国語 I A	2年	選	4	14名	
中国語 I B	2年	選	2	17名	
中国語 I	3年	選	2	7名	
担当者氏名	中山 昭彦	担当者連絡先	0729-98-2100		

学校名	布施(定)高等学校	所在地	東大阪市下小阪3-14-21		
校長名	福島 孝	電話	06-6723-7500	FAX	06-6723-4695
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	0	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語	3年	選	2	7名	
担当者氏名	千木良 孝志	担当者連絡先	06-6723-7500		

学校名	布施北 高等学校	所在地	東大阪市荒本西1-28		
校長名	泉 富三男	電話	06-6787-2666	FAX	06-6787-7305
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	0	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
アクティブタイム	1年	選	1	2名	
アクティブタイム	2年	選	1	8名	
担当者氏名	易 寿也	担当者連絡先	06-6787-2666		

学校名	福井 高等学校	所在地	茨木市西福井3-33-11		
校長名	丸岡 正樹	電話	072-641-4361	FAX	072-641-4692
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	0	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語	2年	選	2	9名	
韓国・朝鮮語	3年	選	2	17名	
中国語	2年	選	2	14名	
中国語	3年	選	2	7名	
担当者氏名	小山 正辰	担当者連絡先	072-641-4361		

学校名	枚岡樟風 高等学校	所在地	東大阪市鷹殿町18-1	
校長名	山田 博	電話	0729-82-5437	FAX 0729-82-5411
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数
韓国語Ⅰ	2年	選	2	22名
韓国語Ⅰ	3年	選	2	6名
中国語Ⅰ	2年	選	2	11名
中国語Ⅰ	3年	選	2	11名
担当者氏名	松浦 薫		担当者連絡先	0729-82-5437

学校名	枚方 高等学校	所在地	枚方市大垣内町3-16-1	
校長名	中尾 俊治	電話	072-843-3081	FAX 072-841-8333
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数
朝鮮文化Ⅰ	2年	選必	2	16名
朝鮮文化Ⅱ	3年	選必	2	21名
中国文化Ⅰ	2年	選必	2	19名
中国文化Ⅱ	3年	選必	2	19名
担当者氏名	大井 秀士		担当者連絡先	072-843-3081

学校名	箕面 高等学校	所在地	箕面市牧落4-8-66	
校長名	井上 泰子	電話	072-721-7091	FAX 072-722-9764
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数
中国文化Ⅰ	2年	選必	2	39名
中国文化Ⅱ	3年	選	2	12名
担当者氏名	西田 彰		担当者連絡先	072-721-7091

学校名	門真なみはや 高等学校	所在地	門真市大字上島頭560	
校長名	伊田 豊	電話	072-881-2331	FAX 072-881-8274
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	1
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数
中国語A	1年	選	2	51名
母語中国語	1年	選	2	10名
中国語B	2年	選	4	6名
中国語C	2年	選	4	8名
エリア中国語	2年	選	2	9名
中国語C	3年	選	2	11名
中国語講読	3年	選	2	9名
エリア中国語	3年	選	2	11名
担当者氏名	竹内 祥浩		担当者連絡先	072-881-2331

学校名	淀川工業(定)高等学校	所在地	大阪市旭区太子橋3-1-32	
校長名	長谷川 耕三	電話	06-6952-0001	FAX 06-6952-6555
該当言語担当教員数		1名	該当言語担当ALT数	0
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数
中国語	1年	選	3	2名
担当者氏名	山本 潔		担当者連絡先	06-6952-0001

学校名	市立西高校	所在地	〒550-0014 大阪市西区北堀江4-7-1		
校長名	河島 正尚	電話	06-6531-0505	FAX	06-6531-9613
該当言語担当教員数	2名		該当言語担当ALT数	0名	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語	3年	選	2	22名	
中国語	3年	選	2	10名	
担当者名	川端 等		担当者連絡先	06-6431-2512	

学校名	市立淀商業高校	所在地	〒555-0024 大阪市淀川区野里3-3-15		
校長名	笠岡 廣志	電話	06-6474-2221	FAX	06-6473-9950
該当言語担当教員数	1名		該当言語担当ALT数	0名	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語	3年	選	2	12名	
担当者名	小島 成起		担当者連絡先	06-6431-2512	

学校名	市立東淀工業高校	所在地	〒532-0031 大阪市淀川区加島1-52-81		
校長名	川上 巖	電話	06-6302-1035	FAX	06-6302-7099
該当言語担当教員数	1名		該当言語担当ALT数	0名	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語入門	2・3年	選	1	39名	
担当者名	川口 正義		担当者連絡先	06-6699-8246	

学校名	市立生野工業高校	所在地	〒544-0025 大阪市生野区生野東2-3-66		
校長名	市田 淳	電話	06-6731-5551	FAX	06-6731-3251
該当言語担当教員数	2名		該当言語担当ALT数	0名	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
韓国・朝鮮語	2年	選	2	13名	
中国語	2年	選	2	20名	
担当者名	上本 哲雄		担当者連絡先	06-6699-8246	

学校名	市立工芸高校	所在地	〒545-0004 大阪市阿倍野区文の里1-7-2		
校長名	北村 翼	電話	06-6623-0485	FAX	06-6623-8419
該当言語担当教員数	1名		該当言語担当ALT数	0名	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
基礎ハンゲル	3年	選	2	8名	
担当者名	山本 多真樹		担当者連絡先	072-861-3005	

学校名	市立扇町総合高校	所在地	〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町1-38		
校長名	栗根 美津子	電話	06-6351-0036	FAX	06-6353-3464
該当言語担当教員数	2名		該当言語担当ALT数	0名	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
ハンゲル	3年	選	2	24名	
中国語	3年	選	2	21名	
担当者名	西村 滋		担当者連絡先	075-393-3880	

学校名	市立此花総合高校	所在地	〒554-0051 大阪市此花区西島2-3-16		
校長名	難波 克充	電話	06-6462-0015	FAX	06-6462-9519
該当言語担当教員数	2名		該当言語担当ALT数	0名	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
ハンゲル	3年	選	2	19名	
中国語	3年	選	2	20名	
担当者名	坂口 誠		担当者連絡先	075-393-3880	

学校名	市立都島第二工業高校	所在地	〒534-0015 大阪市都島区善源寺町1-5-64		
校長名	和中 嵩	電話	06-6921-4236	FAX	06-6925-3969
該当言語担当教員数	2名		該当言語担当ALT数	0名	
開設科目名	対象学年	取り扱い	単位数	履修者数	
ハンゲル	3・4年	選	2	36名	
中国語	3年	選	2	35名	
担当者名	寺口 正信		担当者連絡先	075-393-3880	

(別紙様式1)

平成16年度高等学校における外国語教育多様化推進地域事業基礎報告書

(指定期間 平成16年度 ~ 平成17年度(第1年次))

1. 推進地域指定府県名 (和歌山県)

2. 研究対象言語 (中国語)

3. 平成16年度の実践研究

① 実践研究主題

(ア) 英語以外の外国語教育の推進を図るための教育課程上の課題、指導計画及び指導方法等の工夫改善

(イ) 英語以外の外国語教育の推進を図るための地域人材の活用

(ウ) 英語以外の外国語教育の推進を図るための学校と地域との連携のあり方

(エ) その他(作成した副教材の改善とそれを使用した授業改善の工夫)

② 研究内容等の取組状況

平成14年度、平成15年度の取組において作成した副教材「中国語語法を理解するために(初級中国語の副教材)」の改訂を行うとともに、それを使った効果的な指導方法について研究を行っている。併せて教育機器の活用や中国語教員の研修、中国語を学習している生徒の研修など、ソフトとハード面でも工夫改善を行っている。また、和歌山大学に留学中の中国人留学生や講師が、各推進校を訪問し、中国語を学習している生徒達との交流を行うことにより、中国語能力向上の体制を強化している。

地域との連携に関しては、各推進校において、地域で活躍している中国出身の方々を招き、ゲスト・ティーチャーとして異文化理解の講義をしていただくとともに、人材バンクを作成し、地域人材のより一層の活用を推進している。

4. 今後の研究計画等

※ 本報告書記載段階までの進捗状況を踏まえて、平成16年度で今後計画している具体的研究内容・方法や留意点について記述してください。

(1) 中国語公開講座

これまでの中国語教育・国際理解教育の成果と課題を明確化するとともに、高校生だけでなく、地域の方々も中国語が学習できる公開講座を計画している。

(2) スピーチコンテスト等の実施

各推進校で中国語を学んでいる学生達が、その成果が発表できる中国語暗唱大会やスピーチコンテスト、また中国からの留学生や講師を交えた中国語のみによる合宿(スーパー・チャイニーズ・キャンプ)を計画し、より中国語を学ぶ意欲を喚起するとともに、中国語能力の向上を図る。

(3) 初級中国語会話の副教材の作成

昨年度作成した教材の改訂に加え、本年度は、新たに中国語の基礎的な会話が学べる副教材を作成する。

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	県立青陵高等学校	所在地	和歌山市吹上5丁目6番8号		
校長名	大成 秀明	電話	073-422-5660	FAX	073-422-4045
該当言語担当教員数	1 名		該当言語担当ALT数	0 名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語入門	2～4年	必・選必・選	2	6 名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	

(以下の項目について記入してください)

○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について

- ・ 基本的な中国語の発音や簡単な言葉についての学習を行った。
- ・ 中国の歴史や文化についての学習を行った。
- ・ 中国人留学生を招き、自己紹介やそれぞれの国の文化について、日本語を交えながら説明をした。その後、留学生から簡単な中国語会話を教わった。

○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)

毎週火曜日午後7時から9時まで、社会人対象の中国語講座を開講している。今年度も41名もの受講者がおり、地域から大変好評を得ている。
ただ、時間帯が、夜間部授業時間帯と重なるため、施設・設備面でかなりの制約を受けるため、その対策や改善が急務となっている。

○その他(要望などがあれば記入)

特になし。

担当者氏名	久松 美栄	担当者連絡先	073-428-2466
-------	-------	--------	--------------

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	県立和歌山高等学校	所在地	和歌山市新庄188		
校長名	谷口 久雄	電話	073-477-3933	FAX	073-477-4928
該当言語担当教員数	1 名		該当言語担当ALT数	0 名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語 a	2～3年	必・選必・ <input checked="" type="radio"/> 選	4	29 名	
中国語 b	3年	必・選必・ <input checked="" type="radio"/> 選	4	13 名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者を中心とする地域の方々に対して、本校の教育内容を知らせるとともに、中国に対する理解を深めるという趣旨で、本校中国語講師による講演会を行った。また、やさしい中国語会話の講座をもち、中国に対する理解を深めた。 <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <p>特になし。</p> <p>○その他(要望などがあれば記入)</p> <p>特になし。</p>					
担当者氏名	中西 春	担当者連絡先	073-477-3933		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	県立紀の川高等学校	所在地	和歌山県伊都郡かつらぎ町新田120		
校長名	谷脇 誠	電話	0736-22-0619	FAX	0736-22-5940
該当言語担当教員数	1 名		該当言語担当ALT数	0 名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語	1~4年	必・選必・ 選	2	18名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山大学に留学している中国人留学生をクラスに招待し、文化交流を行った。 ・本校中国語講師による公開講座「中国の文化に親しむ」を開催し、多くの保護者や生徒の参加を得た。 <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <p>特になし。</p> <p>○その他(要望などがあれば記入)</p> <p>特になし。</p>					
担当者氏名	平松 光子	担当者連絡先	0736-22-0619		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	県立那賀高等学校	所在地	和歌山県那賀郡岩出町高塚115		
校長名	田辺 芳昭	電話	0736-62-2117	FAX	0736-62-2119
該当言語担当教員数	2 名		該当言語担当ALT数	0 名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語Ⅰ	2 年	必・選必・ <input checked="" type="radio"/> 選	2	33 名	
中国語Ⅱ	3 年	必・選必・ <input checked="" type="radio"/> 選	2	33 名	
中国語	3 年	必・選必・ <input checked="" type="radio"/> 選	2	23 名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地球市民へのみち(総合的な学習の時間)」の一貫として、3月に台湾現地研修を行っているが、その事前学習に、地域のチャイニーズレストランの中国人シェフを招聘し、食文化をもとに異文化に対する興味関心を高めるために、中国料理の基礎的なテーブルマナーや簡単な中国語の学習を行った。 和歌山県内の大学に留学している中国人留学生を中国語の授業に招待し、中国の生活や習慣の紹介を行った。 生徒・教職員・保護者対象に、中国の伝統楽器である「胡弓」の調べを鑑賞し、楽器にまつわる話を聞くなど、中国文化に親しみ、中国に対する興味や関心を高めた。 <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <p>特になし</p> <p>○その他(要望などがあれば記入)</p> <p>特になし。</p>					
担当者氏名	祭貴 貴美子	担当者連絡先	0736-62-2117		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	県立南紀高等学校	所在地	和歌山県田辺市学園1番88号		
校長名	崎久保 隆	電話	0739-22-3776	FAX	0739-26-0792
該当言語担当教員数	2 名		該当言語担当ALT数	0 名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語	2 年	必 ・ 選必 ・ <input checked="" type="radio"/> 選	2	7 名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国人留学生を招き、自己紹介やそれぞれの国の文化について、日本語も交えながら説明をした。その後、質問や会話を通じて中国語の学習を行った。 <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 <p>○その他(要望などがあれば記入)</p>					
担当者氏名	弓場 康廣	担当者連絡先	0739-22-3776		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	県立星林高等学校	所在地	和歌山市西浜2丁目9-9		
校長名	山崎 秀樹	電話	073-444-4181	FAX	0739-26-0792
該当言語担当教員数	2 名		該当言語担当ALT数	0 名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語Ⅰ	2 年	必 ・ 選必 ・ 選	3	19 名	
中国語	3 年	必 ・ 選必 ・ 選	2	3 名	
中国語Ⅱ	3 年	必 ・ 選必 ・ 選	2	17 名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 単なる講義だけでなく、料理という身近な実践を通しての中国語の学習を行った。大学や専門学校に留学している中国人留学生を招待し、実際に中国料理の作り方ををつくを使うことでより実践的な語学の習得につながるという <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <p>特になし。</p> <p>○その他(要望などがあれば記入)</p> <p>特になし。</p>					
担当者氏名	後藤 秋美		担当者連絡先	073-444-4181	

(別紙様式1)

平成16年度高等学校における外国語教育多様化推進地域事業基礎報告書

(指定期間 平成16年度 ～ 平成17年度(第1年次))

1. 推進地域指定府県名 (長崎) 県
2. 研究対象言語 (中国) 語
3. 平成16年度の実践研究

① 実践研究主題

ア 研究主題

中国語教育の推進を図るための教育課程上の課題、指導計画及び指導方法等の工夫改善

イ 研究主題の設定趣旨

進展する国際化に対応するため、高校生が英語以外特にアジアの言語を身に付けることは意義があり、特に本県は歴史的・地理的に中国との関係が深く、また、中国の経済発展を考慮した場合、今後中国との関係は一層深化するものと考えられる。特に本県ではこれまで中国語によるコミュニケーション能力の育成のため、高等学校教員を中国に1年間派遣して指導者を養成し、ALTを配置し、中国語の授業の充実を図ってきた。今後一層の中国語教育の改善・充実を図ることを目的とし、中国語教育の中核的な3校の授業担当者とALT、学識経験者と協力しながら、中国語教育の諸課題について検討を加え、高校生に対する中国語教育にふさわしい効果的なコミュニケーション能力育成のためのティーム・ティーチング等の指導法の研究を行い、併せて教材開発を行うとともに、より専門的な立場からの指導助言を得るために地域の大学との連携を図り、人材育成、生涯学習及び国際理解教育の視点からも中国語教育の在り方の研究を深めたい。

② 研究内容等の取組状況

(1) 研究推進体制について

本県における研究推進体制は、次頁に示しているとおり、推進校3校を中心にそれぞれの中国語担当教員が「中国語研究プロジェクト委員会」の構成員となり、必要に応じて県教育委員会、学識経験者、ALTが参加することにより、実践研究を進めることにしている。

さらに、県教育委員会、推進校代表、学識経験者、ALT代表による「中国語教育推進連絡協議会」を年1、2回開催し、研究内容や研究方法についての評価を受けるようにしている。

また、各推進校の近隣にある大学との連携により、各推進校独自で大学講師による中国語指導法に関する指導助言が受けられるようにしている。

(2) 現在までの取組状況

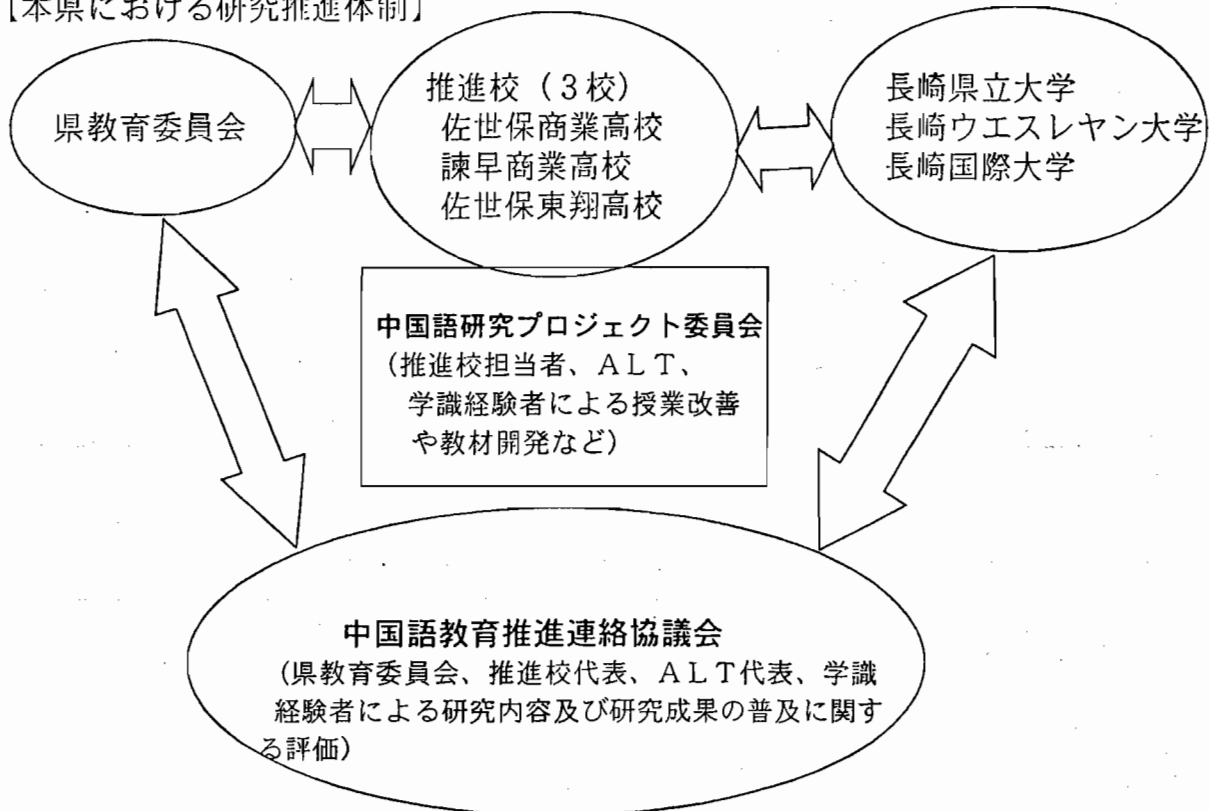
①外国語教育多様化推進地域事業連絡協議会の実施(6月)

本事業の趣旨及び実施方法を説明し、あわせて今後の研究計画について協議をした。(県教育委員会、各推進校の教頭、中国語担当教員、経費事務担当者が参加)

②第1回中国語研究プロジェクト委員会(7月)

推進校3校で共同して取り組んでいく内容及びその実施計画について協議した。(各推進校中国語教育担当教員が参加)

【本県における研究推進体制】



4. 今後の研究計画等

(1) 中国語研究プロジェクト委員会

①授業改善について

9月から月1回各推進校持ち回りで開催し、会場校において研究授業を実施する。その際、ALTや大学教員も参加し、研究協議を行う。

②副教材について

「ニーハオ NAGASAKI!」(仮題)の副教材を各推進校共同で作成する。単元毎に担当者を決めて原案を作成し、委員会で協議していく。

③年間指導計画について

来年度の年間指導計画を推進校共同で作成する。

(2) 中国語教育推進連絡協議会

中国語研究プロジェクト委員会が推進する研究内容についての途中評価を行い、来年度の研究方針について協議する。(12月または1月に実施予定)

(3) 中国語ALTの中間期研修(11月実施予定)

中国語研究プロジェクト委員会の研究内容について、中間期研修においても協議する場を設け、ALTや推進校以外の中国語担当教員との情報交換を行う。

(4) 各推進校独自の取組

近隣の大学との連携により、大学教員による中国語講座の実施や中国語指導法について指導助言を受ける。

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	長崎県立佐世保東翔高等学校	所在地	長崎県佐世保市重尾町425-3		
校長名	玉城保美	電話	0956-38-2197	FAX	0956-38-2175
該当言語担当教員数	1名		該当言語担当ALT数	1名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語Ⅰ	2年	必・選必・ <input checked="" type="radio"/> 選	2	12名	
中国語Ⅱ	3年	必・選必・ <input checked="" type="radio"/> 選	3	7名	
課題研究	3年	必・選必・ <input checked="" type="radio"/> 選	2	2名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校中国語研究会全国大会(長崎大会)における授業研究。 ・3校合同(佐世保商業・諫早商業・佐世保東翔)による、地域に応じた補助教材等の作成。 ・中学生に対する中国語科目の説明。 <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語関係職員が不足しており、授業内容等の検討ができない。 ・3校(佐世保商業・諫早商業・佐世保東翔)間での授業研究および教材研究等に関する連絡調整が難しい。 <p>○その他(要望などがあれば記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語に関しては研修等の機会が少なく、授業内容や教授方法に関する研究環境が厳しい状況にあります。授業方法や内容等に関する研修の機会をより多く設けて欲しいと思います。 					
担当者氏名	牧 信 之	担当者連絡先	0956-38-2197		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	諫早商業高等学校	所在地	諫早市宇都町8番26号		
校長名	中野 勝	電話	0957-26-1304	FAX	0957-26-4689
該当言語担当教員数	2名		該当言語担当ALT数	1名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国実務	1年	必・選必・選	2	41名	
中国語	2年	必・選必・選	2	40名	
課題研究	3年	必・選必・選	2	9名	
	年	必・選必・選		名	
	年	必・選必・選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <p>(1年)・使用教材を中心に、ALTと会話の指導として現在の中国事情について話してもらう。</p> <p>(2年)・使用しているテキスト中心の授業内容である。 ・テキストの内容に類似させて作成した会話文をALTと実演し、聞き取り及び書き取りの練習を行う。 ・ゲームなどのアクティビティ。</p> <p>(3年)・基本的な会話の練習と中国事情についての研究。</p> <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <p>・現在2単位で授業を行っているが、3~4単位になればもっと充実した中国語の授業になると思う。 ・テキスト中心だと一方的なありきたりな授業(説明・質問・発音練習など)になりがちで、生徒が2年目になると飽きてしまう。</p> <p>○その他(要望などがあれば記入)</p> <p>特になし。</p>					
担当者氏名	宮本 孝浩	担当者連絡先	(0957-26-1304)		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	佐世保商業高等学校	所在地	長崎県佐世保市吉岡町863-3		
校長名	松崎 繁保	電話	(0956) 49-3988	FAX	(0956) 49-3989
該当言語担当教員数	3 名		該当言語担当ALT数	1 名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
中国語実務	2 年	○必 ・ 選必 ・ 選	4	5 6 名	
中国語実務	3 年	○必 ・ 選必 ・ 選	2	5 7 名	
中国語実務	3 年	必 ・ 選必 ・ ○選	2	5 名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
	年	必 ・ 選必 ・ 選		名	
<p>(以下の項目について記入してください)</p> <p>○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について</p> <p>(1) 平成16年6月22日(火) 外国語教育多様化推進地域事業連絡協議会開催</p> <p>(2) 平成16年7月13日(火) 第1回長崎県中国語研究プロジェクト委員会開催</p> <p>1) 輪番による研究授業実施の確認</p> <p>2) 副教材作成の割り当て決定</p> <p>3) 来年度、推進校共通の教科書を使用することを確認</p> <p>(3) 平成16年8月末まで 副教材を作成するに当たっての書式の作成</p> <p>○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)</p> <p>特になし</p> <p>○その他(要望などがあれば記入)</p> <p>特になし</p>					
担当者氏名	山崎 洋昭	担当者連絡先	(0956) 49-3988		

(別紙様式1)

平成16年度高等学校における外国語教育多様化推進地域事業基礎報告書

(指定期間 平成16年度 ～ 平成17年度(第1年次))

1. 推進地域指定府県名 (鹿児島) 府・県
2. 研究対象言語 (韓国) 語
3. 平成16年度の実践研究

① 実践研究主題

- ・英語以外の外国語教育の推進を図るための教育課程上の課題、指導計画及び指導方法等の工夫改善
- ・英語以外の外国語教育の推進を図るための地域人材の活用

② 研究内容等の取組状況

ア 韓国語における映像・音声教材の研究及びカリキュラムの編成

【開陽高校】

(7) 韓国語の音声・字幕が使用されたDVD等からの教材選定

(i) 選定した教材のカリキュラム上の位置付け

(ii) 集中授業の実施

(i) 教材作成における地域人材の活用

現在は、授業実践集・日常会話集・基本単語集の作成を中心に取り組んでおり、上記(7)～(i)に関しては、準備中である。

【鹿児島東高校】

(7) 韓国語の音声・字幕が使用されたDVD等からの教材選定

・評判の「冬のソナタ」を中心に取り上げる予定だったが、現在、この関係の映像や出版物が多くなったので、「夏の香り」等の作品に変更予定である。

(i) 選定した教材のカリキュラム上の位置付け

・字幕の有無による効果の違いも研究することを検討中である。

(ii) 集中授業の実施

・3学期に予定している。

(i) 教材作成における地域人材の活用

・人選を進めている。

イ 韓国語の学習支援のためのホームページの開設 【鹿児島東高校】

準備中である。

ウ 韓国語に対する学習意欲の研究【開陽高校】

毎回授業の途中で、「とっさのハングル」(ビデオ教材、毎回5分で20回分)という教材を視聴させている。今年のハングル初級の学習者は真面目に取り組む生徒が多く、この教材は生徒へ知的刺激を与えている。生徒は非常に熱心に視聴しており、学習意欲の高揚に有効的である。

今後、ゲーム的要素も取り入れながら、学習意欲を刺激する教材開発を計画している。

エ 授業実践集の作成【開陽高校】

毎時間授業用のレジメを作成し、授業実践集の作成に向け準備している。

(別紙様式1)

オ 韓国語日常会話集の作成【開陽高校】

授業で使用するレジメの中に日常会話を少しずつ取り入れている。日常会話を知識として教えるだけでなく、実践的コミュニケーション力の育成を目指している。

カ 基本単語集の作成【開陽高校】

教科書で学習する単語を中心に、日常生活で使用する単語も念頭に入れながら、7月までに学習した事項をまとめて単語集を作成した。

キ 講演会の開催【開陽高校】

準備中である。

ク 韓国の高校生との相互交流【鹿児島東高校】

文部科学省が「ワイ・エフ・ユー日本国際交流財団」と協力して実施している「平成16年度新世紀国際教育交流プロジェクト・高校生交流の推進事業」を通し、2名の生徒を韓国に派遣した。

ケ 韓国語教育推進の研究及び交流【開陽高校】

韓国語の授業を通して教材開発を行っている。

※ 本報告書記載段階までの進捗状況を踏まえて、平成16年度で今後計画している具体的研究内容・方法や留意点について記述してください。

【開陽高校】

(1) 映像教材の授業での活用については、当面、ハングル中級と上級での活用をしていく。授業中の一部分の時間を使って活用する方式が有効だと考えている。

(2) 韓国語学習の意欲の研究については、今後、ビデオ学習だけでなくゲームの活用あるいは歌の活用なども研究していきたいと考えている。

(3) 授業実践集については、毎時間のレジメ作成を積み重ねて作成していく予定である。

(4) 韓国語日常会話集は、適当なテーマを設定し、身近な生活で役立つ基本会話集にする予定である。

(5) 基本単語集の作成については、教科書に出てきた単語や、それ以外で学んだ日常生活の単語を基本に作成することを考えている。最終的には、単語の羅列ではなく、例文をつけた単語集にする予定である。

(6) 高校生対象の講演会については、当初は韓国語を学習していない県内の高校生を対象に講演会を開催することを考えていたが、韓国語学習をしている県内の高校生を支援する趣旨の講演会の方が有効ではないかと考え、鹿児島東高校と協力して開催していく予定である。

(7) 韓国語教育推進の研究および交流については、県内の各分野の韓国語（教育）関係者と協力しながら推進していきたい。

【鹿児島東高校】

(1) DVDや参考書を参考に教材開発を行う。

(2) 学年ごとの指導資料を作成し、実践に生かしていく。

(3) 指導資料の音声をCD化するために、地域人材の活用を図っていく。

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	鹿児島県立開陽 高等学校	所在地	鹿児島県鹿児島市上福元町5296-1		
校長名	岩屋 秀男	電話	263- 3733	FAX	260- 8233
該当言語担当教員数	2 名		該当言語担当ALT数	0 名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
ハングル初級	全学年	必・選必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選	4	14 名	
ハングル中級	全学年	必・選必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選	4	5 名	
ハングル上級	全学年	必・選必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選	4	3 名	
(以下の項目について記入してください)					
○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について					
<p>韓国語授業実践集の作成を中心に取り組んできた。毎時間ごとに授業のレジメプリントを作成し、その中に単語や基本会話を取り入れ、基本事項の学習を積み重ねてきた。このレジメプリントが韓国語学習の段階(流れ)を構成しており、発音学習・文字学習・文法学習等の指導における授業事例集作成にも役立ち、教授法確立につながるものと考えている。</p> <p>教科書とプリントの両方を使った学習の兼ね合いに難しい面もあるが、日々の授業実践を通して指導法を見出しつつある。最終的には教科書とプリントの融合した授業事例集を作りたいと考えている。</p> <p>また、これが単語集作成のデータにもなり、基本会話集の作成にもなる。</p> <p>今後の取り組むべき課題としては、映像の教材化・学習意欲の研究・講演会の開催・韓国語教育推進の研究及び交流の推進などである。</p>					
○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)					
<p>授業実践集・単語集・日常会話集の作成などまだ始めたばかりだが、作成を急ぎ、改善を図っていく予定である。地域人材の活用も行っていく。</p>					
○その他(要望などがあれば記入)					
担当者氏名	今給黎 俊伸	担当者連絡先	099-263-3733		

(別紙様式2) ※下記データについては、平成16年5月1日現在で記入してください

学校名	鹿児島東高等学校	所在地	鹿児島市東坂元3-28-1		
校長名	田之上貴己	電話	099-247-2000	F A X	099-247-2011
該当言語担当教員数	2 名		該当言語担当ALT数	0 名	
開設科目名	対象学年	取扱い	単位数	履修者数	
韓国語会話	1 年	必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選必・選	2	42 名	
韓国語会話	2 年	必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選必・選	2	20 名	
韓国語会話	3 年	必・ <input checked="" type="checkbox"/> 選必・選	3	7 名	
(以下の項目について記入してください)					
○平成16年4月から平成16年8月末(予定)までの取組み状況について					
<p>(ア) 韓国語の音声・字幕が使用されたDVD等からの教材選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評判の「冬のソナタ」を中心に上げる予定だったが、現在、この関係の映像や出版物が多くなったので、「夏の香り」等の作品への変更を考えている。 <p>(イ) 選定した教材のカリキュラム上の位置付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学年でどんな教材を選定し、授業に取り入れるか、カリキュラムに即した内容を研究中である。 ・字幕の有無による効果の違いも研究準備中である。 <p>(ウ) 集中授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学期実施に向けて準備中である。 <p>(エ) 教材作成における地域人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人選を進めている。 					
○現在までの取組みにおける問題点について(あれば記入)					
○その他(要望などがあれば記入)					
担当者氏名	山下敏裕	担当者連絡先	099-247-2000 ilban@inkas.or.tv inkas@ezweb.ne.jp		